

日田市立学校の働き方改革推進のための取組

教職員の勤務実態の把握の取組

○出・退勤時刻簡易記録システムによる把握

- ・市内全小中学校及び学校支援センター・給食調理場に勤務する教職員の出退勤時刻と時間外在校等時間を把握する。
- ・各学校等において、在校等時間が多い教職員については、管理職による業務内容の確認及び必要に応じて業務を複数で担当する等の見直しを実施する。
- ・各学校等の記録を毎月市教委へ提出することで、日田市全体の傾向を把握する。
【R6年度の実態】教職員1人あたりの時間外在校等時間の平均は、前年と比較して約2時間縮減

在校等時間縮減に向けた取組

※「日田市立学校時間外勤務の縮減に向けた検討委員会」で案を作成、「日田市立学校職員衛生委員会」で決定

①業務量の総量縮減

- 市主催行事・研修の精選 ○ICTの積極的な活用（アンケート、オンライン会議）
- 情報配信メールによる保護者連絡 ○標準授業時数を超える時間の活用
- 児童生徒の学び、教職員の業務を支援するスタッフの適切な配置 ○時間外の音声メッセージによる電話対応 等

②業務内容の効率化

- 統合型校務支援システムの活用 ○タブレット端末等による授業準備の効率化 等

③教職員の意識改革

- 夏季休業における学校閉庁日設定 ○「ノー残業デー」「最終退勤時刻設定習慣」の取組
- 外部人材の積極的な活用（スクールサポートスタッフ、部活動指導員、スクールカウンセラー 等）